



Subaru

# 男声合唱団

ニュース №.312 '11.07.21

「昂・総会合宿」…7月18日（月・祝）、19日（火）

## 新団長の夢：80人の団をめざして！

□7月18日（月・祝）と19日（火）の2日間、新大阪のココプラザおよび、同棟の新大阪ユースホステルで、昂の2011年度総会と交流・練習合宿を行いました。



□この総会で、藤後団長が後進に道を譲って退かれ、代わって千秋さんが団長に、また副団長として、石橋さんと乾さんが満場一致で選任されました。藤後さんは創立以来団長として昂を引っ張つて今日の姿にしていただき、一同感謝の念でいっぱいです。今後は名誉団長として引き続き団の指導、相談に力を貸していただきます。

□千秋新団長から、各パート20名計80名の団で迫力ある男声合唱をしたいと、総会の最も重要な議題である「団員拡大」について、「小さな目標」ではなく、一気に「夢のある目標」が語られ、一同、意気を感じて、その後の交流や発言でも明るい夢を目標に進もうと、積極的な発言、姿勢が目立ちました。

さすが新団長、その夢や良し、共に昂の発展のために知恵を出し合って頑張りましょう！！



□「団員拡大」については、喫緊の重要課題として、岡村さんから「プロモーションステージ」を打って、一気に団員を呼び込もうとの、積極的な提案がなされ、それに応じて、皆さんからも積極的な提案が続出しました。運営委員会で担当を決めて具体的な案を練り、団員の皆さんと共に行動に移したいと思います。ただし、基本は、あくまで、日常で「昂ならではの合唱」で感動と共感を届け、それをもとに、「一人が一人を誘って」仲間を増やすことにあることに変わりはありません。

□「日本のうたごえ IN 千葉」を目指して、合唱コンクールの審査方法や実力団体の選曲に対して疑問を抱くとする意見から、今回は「交流の部」で参加したらどうかと話し合われましたが、やはり、従来通り、「昂らしい選曲と演奏」をひっさげて「コンクール形式の合唱発表会」の部へエントリーしようということで多数の意見で決まりました。

□今年度は新曲をそんなに数多く仕上げることができないので、来年中のコンサートはやめることにし、2013年に8Th公演をする、この年の「日本のうたごえ祭典 IN 大阪」に合わせて、祭典を盛り上げる形で開催することで一致しました。

□東日本大震災復興支援・障害者自立支援の「心のかけはし」出版記念「絵手紙コンサート」(8/14)への参加出演が決まっていますが、さらに、「うたごえ祭典 IN 千葉」に合わせて、復興支援コンサートを現地で開催して、被災者の皆さんと連帯し、心の絆を深められないかと活動提案され、担当グループを決めて具体化して行くことになりました。

□その他、数多くの議題については、各団員に配布済みの総会の議案書どおり承認、議決されましたので、このニュースでは割愛させて頂きます。総会・交流の参加は36名でした。

## 新年度（今総会以降）レッスン変更

第5金曜日はレッスン取りやめとなりました。

第5日曜日は従来通りレッスンがあります。

（7月29日（金）・・・レッスンなし

7月31日（日）・・・レッスンあります）



談論風発・議論百出・  
百家争鳴・和気藹藹（あいあい）

## 食堂で交流・親睦会



□総会のあとお風呂にはいり、食事をした後、食堂で交流会・親睦会をしました。

□皆さんから積極的な発言、提案が出て席が晴れやかになりました。新団長の「80名の団の夢」発言の効果？

## 19日のレッスン

## 伊藤副指揮者再レビュー



□総会の次の日の19日(火)9時半から3時まで、公演曲を中心にたっぷりレッスンしました。高田(和弘)さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングに始まり、檀先生の指揮、静さんのピアノで「絵手紙」、「風の花の色」、「ドライボーンズ」と「歓びのナーダム」、昼食後、長期出張から帰国されて再レビューの伊藤さんの指揮で、「壁のうた」、

続いて、本並先生の指揮で「シルクロード(短縮版)」、「歓びのナーダム」、「死んだ男の残したもの」、「なぜ」をたっぷりレッスンしました。参加は30名でした。

□昼食休憩時間に、ユースホステル従業員の皆さんと「音楽交流」をしました。ドイツの学生のダビット君がアルバイトでユースホステルに滞在していて、3歳から鍛えてきた素晴らしいピアノでラフマニノフのエチュードを弾いてくれ、静さんの達者なドイツ語通訳で交流しました。お返しに、昂は「フィンランディア」と「地底のうた」の前半を演奏しました。



## 岩本さんのお見舞いに行ってきました。

総会合宿のあと岩本さんをお見舞いしようと、立川、奥村、吉田、三村の4名で病院を訪ねようとしたところ、19日の当日、退院され、桃山台の自宅に戻っておられました。

12日の手術は左の甲状腺を摘出しましたが、経過はしごく良好で、とても大手術をした後とは思えない元気さでした。転移もないで、あとは20日後ぐらいに診断に来て下さいとあっけないぐらいで、抗がん剤など一切なしということでした。今後はすこし控えながら、まったく普段通りの生活のこと。

入院中に金子みすゞの詩を数曲作曲し、病院では「元気さん」というニックネームがついたとのこと。昂は退院したけれど、チケットなどの応援は今後も一生懸命やりますと力強い言葉をもらいました。

安心でした。うれしい報告ができます。

## 本並先生指揮でレッスン…1月17日（金）

□記事が前後しますが、17日（金）のレッスン記事。この日はレッスンに先立って運営委員会がNo.312（3/4）あり、18日の総会議案を中心に話し合わされました。

□レッスンは高田（弘）さんの体操に始まり、風邪から復帰の本並先生のボイストレーニングと指揮、静さんのピアノで、「歓びのナーダム」、「シルクロード（短縮版）」、「天の火」、「なぜ」、「ドライボーンズ」、ふたたび、合唱発表会バージョンで「シルクロード（短縮版）」と「歓びのナーダム」をレッスンしました。参加は今日から復帰の高田（和夫）さん、休団中の寺尾さんを加えて33名でした。



□写真は手術時間がちょうど東日本大震災で揺れた時間でこわかったと高田（和夫）さん。

### □レッスン一口メモ

・「シルクロード短縮版」は、歌う小節は **1~38** と、**55**②題目～最後まで。  
歌わない小節は **39~63** (**55**①題目はカット)

・「歓びのナーダム」装飾音符で歌う箇所；

ナダムーだ⑦ダムーだ モンゴルの⑥つは ナダムにも⑧一るよ ホッホー  
おとこも⑨んなも その日を⑩っている ナーダムのま⑪りだよ ホッホー

・「歓びのナーダム」**24**小節 踊るよ！

16分音符

変更7月19日

**6 · 6 / 1—** → **6 6 · 6 / 1—**  
踊る よー 変更 おど る よー



祝 祝 鼎第十一回総会  
サッカー女子W杯優勝」(2011-07-18)  
なでしこの花言葉を調べてみました：「純愛」「大胆」  
「勇敢」  
八重になつたら…燃える愛」

西野アヤの「音楽遊び

No.312 (4/4)